

スクールトピックス



女子5区を走る安積黎明高校1年の小板橋梨亜選手



男子4区を走る会津高校2年の高久浩輔選手



男子2区を走る猪苗代高校3年の溝井陽向選手

高校生が猪苗代路を力走

男子第67回、女子第40回県高等学校駅伝競走大会は10月20日、本町で開かれ、カメリーナをスタート・フィニッシュする男子7区間42.195㌾、女子5区間21.0975㌾で争われました。男子は学法石川高校が12年連続14度目、女子は学法石川高校が7年連続9度目の優勝を果たしました。猪苗代高校男子は、チーム一丸となってタスキをつなぎ、オープン参加校を除く18チーム中17位となる健闘を見せました。

県中学校駅伝競走大会

第65回県中学校体育大会駅伝競走大会は10月5日、榎葉町総合グラウンド内駅伝コースで開かれ、男子6区間17.7㌾、女子5区間12.52㌾で争われました。

本町からは猪苗代中学校のチームが、男子5位、女子2位に入る健闘を見せ、女子チームが山形県天童市で開かれる東北大会への出場権を得ました。

女子4区で安部花穂さん(3年生)は、区間賞を獲得しました。



入賞した男子チームと女子チームの選手ら

大きく育った稲を収穫

千里小学校5年生の児童16人は9月30日、入江地区の佐藤智彰さんの田んぼで稲刈り体験を行いました。

児童たちは、佐藤さんから稲の持ち方や鎌の使い方を教わった後、たわわに実った「里山のつぶ」を丁寧に刈取りました。

この日は天候にも恵まれ、参加した児童は「とても楽しかった」「もっとやりたい」「稲を刈った時の感触が気持ち良かった」と感想を話しました。



稲刈り体験を行った千里小の児童ら

ホットニュース



中学生の部に参加した(左から)佐藤大護さん、渡部結大さん、野口愛姫さん、佐賀美柚さん



小学生の部に参加した(左から)二瓶結衣さん、橋本沙樹さん、吉野結香さん、加藤柚希さん

第5回ビブリオバトル

第5回猪苗代ビブリオバトルは10月16日、和みいなかで開かれました。

「ビブリオバトル」は、本の紹介コミュニケーションゲームです。発表者が読んで面白かったと思った本を持ち寄り、順番に1人5分の持ち時間で本を紹介します。それぞれの発表の後に観戦者を含む参加者全員でその発表に関するディスカッションを2〜3分行います。全ての発表が終了した後、「どの本が一番読みたくなったか」を基準として参加者全員で投票を行い、最も票を集めた本が「チャンプ本」となります。

今回のビブリオバトルには、町内の小中学生各4人が参加し、それぞれが本の魅力を伝えました。

小学生は発表のみ行い、観戦者も含め中学生以上の人のみ投票を行いました。その結果、野口愛姫さん(猪中3年)が紹介した「世界のへんな肉(白石あづさ著)」がチャンプ本に選ばれました。

地域おこし協力隊通信

私たちが地域を元気に！

地域おこし協力隊

はたなか あつし
畠中 惇さん

主な活動内容：観光振興・ジオパーク支援、
地域産品の販売促進



早いもので着任してから約1年半が過ぎ、任期も折り返し地点となりました。

今年は猪苗代町の地域おこし協力隊(以下、協力隊)として初めて、磐梯まつりにブースを出展し、協力隊員それぞれの活動紹介の展示と協力隊に関するアンケートを実施しました。

アンケートでは、幅広い年代の方々からご回答をいただくことができました。協力隊の活動内容に対する地域への浸透具合や、地域の方が協力隊に求めることなどについて目に見える形で把握することができました。

11月12日から13日に開催される「第26回猪苗代新そば祭り農産物物産展」にも、今回初めて協力隊でブースを出展することになりました。

ブースでは、県内外からの来場者に向けて、協力隊という「移住者」の視点から見た猪苗代での暮らしの魅力や楽しみ方を発信し、冬季以降の誘客や関係人口の獲得を目指したいと考えています。